

E1 東名高速道路 全線開通 50 周年記念イベント 『東名高速全線開通 50 周年記念モニュメント除幕式』に 吉田沙保里さんが登場！

一般参加型で制作する記念モニュメントに、記念すべき最初のペインティングを実施！

NEXCO 中日本(本社・名古屋市中区、代表取締役社長 CEO・宮池克人)は、E1 東名高速道路(E1 東名)が全線開通 50 周年を迎えるのを記念し制作される『東名高速全線開通 50 周年記念モニュメント』の除幕式を、吉田沙保里さんをゲストにお迎えし、50 周年当日となる 2019 年 5 月 26 日 12:00 より足柄サービスエリア(SA)(静岡県駿東郡小山町桑木 603-18)で開催いたしました。



会場となった足柄 SA のイベントスペースに、SA をご利用のお客さまや地元にお住まいの方々約 300 名が詰めかけるなか、ゲストとして吉田沙保里さんがステージに登場。現役時代、東京と愛知を拠点にご活躍された吉田さんは東名高速道路を幾度となく利用されていたとのことで、「子供の頃は、父親が運転する車に乗り、週末になると試合の遠征で高速道路をよく利用していました。遠征帰りでは、サービスエリアによって食事をしたり、キーホルダーを集めたりしていました」とコメントし、当時を懐かしむ様子でした。また、50 周年という一つの節目を迎えた東名高速道路にあゆみに関する当社社長・宮池克人の話と重ね合わせ、「自分も今年現役引退という節目を迎え、約 5 か月が経ちましたが、レスリング以外のこともたくさん経験させていただき、楽しい毎日を送っています」とコメントしました。

その後、当社社長および地元足柄にお住まいのお子さま 4 名とともに、50 周年記念モニュメントのアンバール・セレモニーに参加。東名高速道路になじみのある富士山をモチーフに、お客さま投票で決定した東名全線開通 50 周年の記念ロゴを上部に冠したモニュメントが登場し、会場は歓声と拍手に包まれました。

このモニュメントは、当日ご来場いただいているお客さまにもペインティングにご参加いただくことで完成する仕様となっており、その記念すべきファースト・ペインティングを吉田さんに行っていただきました。晴天に恵まれた当日の空の色と同じ、青色のアクリル絵の具を力強くペイントした吉田さんは、会場に詰めかけたお客さまに向けて、「ぜひたくさんの方にペインティングに参加いただき、カラフルなモニュメントを完成できればうれしいです」とコメントしました。

■『東名高速全線開通 50 周年記念モニュメント』について

東名高速道路から雄大な姿を見ることができる富士山をモチーフに、お客さま投票で決定した東名全線開通 50 周年の記念ロゴを上部に冠したモニュメントです。

セレモニーで吉田沙保里さんに最初のペインティングをしていただいたモニュメントは、セレモニー終了後に行われたワークショップで、神奈川県在住のアートユニット「Fujiyoshi Brothers」と当日ご来場いただいたお客さまによって次々と色が加えられていき、色鮮やかなモニュメントとして完成しました。このモニュメントは、足柄 SA (下り)内に設置し、フォトスポットとして活用する予定です。



《参考》50 周年記念ロゴマークについて

50 周年記念モニュメントの上部にも設置されている東名全線開通 50 周年記念ロゴマークは 2018 年 4 月 25 日から 6 月 1 日まで実施したお客さま投票で決定しました。

50 周年記念ロゴマーク



<コンセプト>

人や街をつなぐ東名高速道路を一筆書きで表現。

富士山と太平洋のイメージからブルーを採用しています。